

国際小児がんデー 2023 啓発キャンペーン報告書

2023.1.1～3.31



CCA J

公益財団法人 がんの子どもを守る会

Children's Cancer Association of Japan

後援：厚生労働省



ICCD

がんの子どもを守る会は、1968年に小児がんで子どもを亡くした親たによって設立され、小児がんが治る病気になってほしい、また小児がんの患児・家族を支援しようという趣旨のもと活動している団体です。

毎年2月15日は「国際小児がんデー」です。

International Childhood Cancer Day

毎年世界中で40万人もの子どもたちや青年ががんと診断され、病気と闘っています。こうした厳しい現実を知ってもらうため国際小児がんの会（CCI*）は、毎年2月15日を「国際小児がんデー」とし、2002年以来、世界中の団体と連携してさまざまなキャンペーンやイベントを実施しています。

当会もこの趣旨に賛同し、毎年この時期に「国際小児がん月間」を設け、小児がんに対する理解と支援の輪が広がることを目指して、本部・支部、会員、ボランティア、支援者が一体となり、全国一斉に小児がん啓発キャンペーンを展開しています。小児がんの医療が向上し、療養環境が一層整備されていくことを心から願っています。



*CCI（Childhood Cancer International）とは・・・



世界中の小児がん患者が最善のケアを受けることができるように、情報や経験を分かち合うことを使命として設立された連盟です。現在90か国から176団体の会が加盟しており、国際的なネットワークを築いています。がんの子どもを守る会は、世界で最も歴史のある小児がん親の会として1997年より加盟しています。

活動の様子①

公共施設や病院、ショッピングモールなどで募金・啓発活動を行いました。
一部ですが紹介致します。



北海道大学病院



宮城県立こども病院

付き添いをしているご家族から、「国際小児がんデーがあるんだね、知らなかった」と声を掛けられました



茨城県神栖市



福島県立医科大学附属病院



埼玉県立小児医療センター



募金当日は初午祭。多くの参拝者にブースに立ち寄っていただきました。

東京・豊川稲荷

活動の様子②



神奈川・大和市立図書館



静岡・サントムーン柿田川

3年振りに学生さんたちに直接お話させてもらう機会をいただきました。

福井・敦賀気比高校
若狭高校

県内では3か所でゴールドのライトアップが実施されました

福井駅前広場



福井県織協ビル



福井・鯖江市民活動センター



活動の様子③



岡山・中央図書館



広島大学病院

図書館では小児がんの関連本や資料を展示してもらいました。この取り組みは地元新聞に記事にいただきました。その他、県内では数多くの施設で協力いただきました。

12月にクリスマスツリーの代わりに、ゴールドリボンツリーを啓発チラシと共に展示いただきました

愛媛では地元病院がゴールドのライトアップされました。また、洋菓子店などの店舗での啓発活動の様子がTV局に取材されました。



オーテピア高知図書館



広島市内募金活動



愛媛・松山市marubun



愛媛大学病院

活動の様子④

福岡・大分県内の各地で工夫を凝らした啓発キャンペーンが展開されました。その様子が地元TV局に取材されました。

また、協力いただいた方が部署を異動された先でも活動を続けてくれたと嬉しい報告もありました。

福岡県庁



福岡市役所



宗像・遠賀保健福祉環境事務所



産業医科大学病院



大分大学医学部附属病院



福岡・田川市総合庁舎



九州大学病院



山田図書館



嘉穂図書館



サンコスモ古賀



九州がんセンター



直方市役所



とんの幼稚園



ウェルとばた



宗像市民図書館

活動の様子⑤

関連のイベント

LIVE EMPOWER CHILDREN 2023

2023.2.15 (WED)
 場所：NHKホール
 開場時間：17時
 開演時間：18時

国際小児がんデー
2023.2.15
 OPEN 17:00 START 18:00
LIVE & ONLINE

エンタメで子どもたちに生きる力を

小児がん治療支援チャリティライブ supported by 第一生命

Artists featured: 藤川七瀬, 大島厚志, Girls², コスヘラース, SAM-ETSU, CHIHARU-UJI, KOO from TRF, Da-iCE, 綾乃あめりか, 渡辺 結衣, Novelbright, BUDDiS, ヒコ太郎, moumoon, May'n, MONKEY MAJIK, つんく♯(特別出演), 堀江 貴文(特別出演), 藤本美貴, コロンビア大学アナンツウ

2月15日開催『LIVE EMPOWER CHILDREN』2023

国際小児がんの会（CCI）発信

世界中の小児がんの団体が国際小児がんデーに取り組んでいます。

↓国際小児がんデーのグローバルサイト

ICCD
International Childhood Cancer Day

Home | Tree of Life | Participate Handprint & Message | View Global Handprints and Messages | Survey | About | Contact

Better Survival is achievable
#ThroughTheirHands

This year, ICCD's plan for action pays tribute to the positive impact of families and caregivers on the lives of children and adolescents with cancer.

Colour your handprint and write your message

Better Survival is achievable

In September 2018, the WHO Global Initiative for Childhood Cancer was launched with the goal to achieve at least 60 per cent survival globally and to reduce suffering of all children with cancer by 2030. Achieving this goal will save an additional one million children's lives while also improving the quality of life for all children and young people with cancer. The 60 per cent target approximately doubles the 2018 global survival rate for children with cancer.

In this vein we have planned the three-year campaign for ICCD 2021-2023 using the universal image of colourfully painted handprints of children. These handprints will represent survival rates for children with cancer on a national, regional and international scale.

The objective of this campaign will not be achieved without your participation. Therefore, we invite you all to have a look at the "Participate Handprint & Message" page and follow the instructions.

Message from WHO, CCI, SIOP

Better Survival is achievable
#ThroughTheirHands

International Childhood Cancer Day @ 15th February

Speak out for children and adolescents with cancer using #ICCD2023 #ThroughTheirHands #cureall

Better Survival

- Responsive government policy
- Effective treatment
- Palliative & Supportive care
- Family support
- Cancer registry
- Timely and accurate diagnosis
- Multidisciplinary care
- Qualified workforce
- Available and affordable essential medicines
- Rehabilitation and Reintegration

今回で12回目のキャンペーンとなりますが広く全国に小児がん啓発をするために、当会本部・支部が一丸となり多方面に協力を呼びかけました。キャンペーン期間中には3,625,568円の募金・寄付が集まりました。集まった募金・寄付は小児がんの子どもや家族のために活用するとともに、その一部は、CCIを通じて発展途上国の小児がん医療向上に役立てていただきます。

啓発・チャリティグッズ

ゴールドリボンをモチーフにしたチャリティチョコレートを中心に啓発・チャリティグッズを頒布し、会報誌やリリース等でご紹介したところ、大変多くのご協力をいただきました。

オリジナルチョコレート

約3,980個

ゴールドリボン (バッジ&ストラップ)

約453個



ポストカード



チャリティチョコレート

ゴールドリボンは小児がん支援の国際的なシンボルマークです。

ご存じですか？ 小児がんのこと

- 日本では、年間約2,000人の子どもたちが新たに小児がんと診断されています。
- 種類によっては7～8割が治療を終えられますが、年間約500人の若い命が失われています。
- 大人のがんと異なり、生活習慣に起因するものではありません。
- 長期的治療が必要となり、学校や家庭など生活面に様々な影響があります。
- 治療を終えた後も、心身に課題を抱え、自立や就労に困難を伴う場合があります。

公益財団法人がんの子どもを守る会(CCA)は、1969年の創設以来、小児がんの闘いを通して、小児がんの子どもと家族を支える活動を続けています。



チャリティチョコレートに添えた啓発カード



ゴールドリボンバッジ

INTERNATIONAL CHILDHOOD CANCER DAY 2.15 国際小児がんデー

2月15日は国際小児がんデーです。世界中で小児がんの子どもたちのための支援も呼びかける活動が展開されています。

子どもにもがんがあります。ご存じですか？ 小児がんのこと

- 日本では、年間約2,000～2,500人の子どもたちが新たに小児がんと診断されています。
- 種類によっては70～80%が治療を終えられますが、子どもは成長段階の第1位であり、さらなる治療の向上が求められています。
- 大人のがんと異なり、子どもに発生するがんは多くで、生活習慣に起因するものではありません。
- 長期的治療が必要となり、学校や家庭など生活面に様々な影響があります。治療を終えた後も、心身に課題を抱え、自立や就労に困難を伴う場合があります。

公益財団法人がんの子どもを守る会(CCA)は、1969年の創設以来、小児がんの闘いを通して、小児がんの子どもと家族を支える活動を続けています。

〒111-0003 東京都台東区根岸1-3-12 TEL.03-5425-8311 www.ichcdd.jp



チャリティエコバッグ

啓発チラシ/ポスター

ご協力いただいた行政機関、病院、教育機関、企業・団体など

(順不同・敬称略)

<行政・公共機関等>

青森県、八戸市、秋田県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、神栖市、東京都、文京区、江戸川保健所、山梨県、長泉町社会福祉協議会、射水市中央図書館、富山県、福井県、大野公民館、石川県、小浜市、敦賀市、岐阜県、三重県、奈良県、岡山県、岡山市立中央図書館、島根県、香川県、徳島県、オーテピア高知図書館、福岡県、福岡市、直方市、宗像市民図書館、嘉穂図書館、山田図書館、田川市、ウェルとばた、宗像・遠賀保健福祉環境事務所、佐賀県、熊本市ウェルパル熊本、大分県・市保健所、浦添市役所、沖縄市役所

<病院等医療機関>

北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、札幌北榆病院、市立釧路総合病院、弘前大学病院医学部附属病院、山形大学病院、東北大学病院、宮城県立こども病院、福島県立医科大学附属病院、がんセンター新潟病院、埼玉県立小児医療センター、東京都立小児総合医療センター、東京医科歯科大学、東京大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学、順天堂大学、国立成育医療研究センター、聖路加国際病院、東海大学附属病院、千葉県こども病院、浜松医科大学、名古屋大学、名古屋市立大学病院、福井大学医学部附属病院、福井県済生会病院、福井赤十字病院、福井県立病院、本馬医院、京都府立医科大学附属病院、京都市立病院、大阪母子医療センター、大阪市立総合医療センター、大阪医科薬科大学病院、岡山大学病院、岡山医療センター、岡山日本赤十字病院、岡山済生会病院、倉敷中央病院、川崎医科大学、川崎医科大学総合医療センター、津山中央病院、高梁中央病院、金田病院、岡山労災病院、岡山市民病院、倉敷成人病センター、岡山県難病相談支援センター、島根大学医学部、広島大学病院、愛媛大学医学部附属病院、佐賀県健康づくり財団メディカルセンター、大分大学医学部附属病院、宮崎大学病院、九州がんセンター、九州大学病院、産業医科大学病院、琉球大学附属病院、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、沖縄県立看護大学

ご協力いただいた行政機関、病院、教育機関、企業・団体など (順不同・敬称略)

<教育機関等>

仁愛女子短期大学、敦賀気比高等学校IAC、若狭高等学校JCR部、旭川荘厚生専門学院、矢掛町立三谷小学校・美川小学校、岡山市立豊保育園・豊幼稚園・豊小学校・西大寺中学校、岡山学芸館高等学校、IPU環太平洋大学保健室、山口県立大学、とんの幼稚園、沖縄大学、沖縄女子短期大学、沖縄県立鏡が丘特別支援学校

<企業・商業施設、団体等>

アフラック生命保険株式会社、アフラック販売代理店、日本対がん協会、清水建設株式会社、武州製薬株式会社/武州製薬ユニオン、モルガン・スタンレー、株式会社Fast Fitness Japan、豊川稻荷、鉄板焼きみかづき、サントムーン柿田川、みやの森カフェ、る・ふっくらん、株式会社プレステージインターナショナル、カフェしえる、福井県織協ビル、鯖江市民活動センター、アピタ福井大和田店、福井本丸ライオンズクラブ、ふくいこどもホスピス、みいつカフェ、小浜ショッピングセンター カフェ縞、ECO DOG、道の駅若狭おばま、MEGAドン・キホーテUNY敦賀店、焼肉の壇、兵助株式会社、和宗総本山四天王寺、神戸フィルハーモニック、岡山商工会議所西大寺支所、株式会社エディオン広島本店、pizzeriaMaruburin、ケーキ屋ミネット、ボンジュールネ、オーテピア高知図書館、イオンモールライカム、ワタナベフォトスタジオ、日本郵便株式会社九州支社、認定NPO法人子ども医療支援わらびの会、放課後等デイサービスオリーブ

<メディア掲載>

NHK福井・松山・福岡、新潟日報社、福井新聞、嶺南ケーブルテレビネットワーク、山陽新聞社、西日本新聞社、FBS福岡放送

今回もたくさんの方々に国際小児がんデーのご協力をいただきました。
ありがとうございました。



CCAJ

公益財団法人 がんの子どもを守る会

Children's Cancer Association of Japan



公益財団法人 がんの子どもを守る会

東京事務所 〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-3-12
TEL : 03-5825-6311 FAX : 03-5825-6316

大阪事務所 〒541-0057 大阪府大阪市中央区北久宝寺2-3-1
TEL : 06-6263-1333 FAX : 06-6263-2229

